

# ふじさわ市 議会だより

## 主 な 内 容

- 令和4年度予算審査のあらまし…… 2面
- 予算に対する各会派の要望・意見…… 3面
- 代表質問…… 4～6面
- 常任委員会・特別委員会の動き…… 7面
- 議案等審議結果一覧…… 8面

No.245

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 令和4年(2022年)4月25日  
 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123  
 ホームページアドレス <http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



市議会  
トップページ

2月定例会



桜人が思い巡らせ道をゆく 引地川親水公園

# 世界の恒久平和実現を願う

## ロシアの侵攻に抗議する決議を全会一致で可決

2月定例会は、2月15日から3月22日までの36日間により開催され、市長から提出された令和4年度8会計予算をはじめ、「専決処分の承認について(令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第10号))」など43議案が承認、可決されました。また、議員提出による「ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議について」が可決されました。

この議案は、ロシアによるウクライナへの侵攻に対して抗議の意を表するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、国際法に基づく誠意ある対応を強く求めることを決議するもの。

○令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第12号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ88億8168万1千円を追加し、補正後の予算総額を1829億2049万8千円とする。

主な補正内容は、次のとおり。

▽法人立保育所運営費等助成事業費 4992万9千円  
 保育士等の賃金改善を目的とした補助金の交付に要する経費及び認可保育施設への補助等が当初見込より上回るため増額するもの。

▽新型コロナウイルスワクチン接種費 8億2098万8千円  
 3回目のワクチン接種及び12歳未満等への接種に要する経費を増額するために繰越明許費(※)を設定。

▽感染症対策事業費 11億3226万9千円  
 ワクチン接種に係る体制整備費用等を増額するために繰越明許費を設定。

▽テレワーク等導入支援事業費 1200万円  
 市内中小企業者のテレワーク導入に係る環境整備を目的とした補助金の交付に要する経費を増額するために繰越明許費を設定。

▽教育情報機器関係費 4701万5千円  
 授業で使用するICT周辺機器や指導者用端末等の購入及び学校内のネットワーク環境の安定化に要する経費を増額するために繰越明許費を設定。

○藤沢市小児医療費助成条例の一部改正について  
 この議案は、中学生の医療費助成に設けている所得制限を撤廃するため、条例の一部を改正するもの。

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

○藤沢市国民健康保険条例の一部改正について  
 この議案は、国民健康保険法施行令の一部が改正され、国民健康保険の保険料率において未就学児に係る均等割額を軽減することとされたこと等に伴い、条例の一部を改正するもの。

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

維持する程度の高い」という文言を追加するもの。  
 ・養育者の所得により対象者としていない小児に関する規定を削除するもの。

【施行日】令和5年4月1日  
 ○藤沢市国民健康保険条例の一部改正について  
 この議案は、国民健康保険法施行令の一部が改正され、国民健康保険の保険料率において未就学児に係る均等割額を軽減することとされたこと等に伴い、条例の一部を改正するもの。

【施行日】令和4年4月1日  
 ○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

【施行日】令和4年10月1日  
 ○藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について  
 この議案は、藤沢市江の島サムエル・コッキング苑の入場料について、リニューアル整備の機会を捉えて見直した結果、午後5時までの利用の無料化により日中の利用者及び周辺地域への経済効果の拡大を図るとも

### 議会の動き

- 【1月】
  - 25日 子ども文教常任委員会
- 【2月】
  - 4日 災害対策等特別委員会
  - 広報広聴委員会
  - 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
  - 10日 議会運営委員会
  - 15日 議会運営委員会
  - 17日 本会議(第1日)
  - 17日 議会運営委員会
  - 17日 本会議(第2日)
  - 18日 建設経済常任委員会
  - 21日 厚生環境常任委員会
  - 22日 子ども文教常任委員会
  - 24日 総務常任委員会
  - 25日 補正予算常任委員会
  - 広報広聴委員会
  - 28日 議会史編さん委員会
- 【3月】
  - 2日 議会運営委員会
  - 本会議(第3日)
  - 3日 議会運営委員会
  - 本会議(第4日)
  - 4日 議会運営委員会
  - 本会議(第5日)
  - 予算等特別委員会
  - 7日
  - 8日
  - 9日
  - 10日
  - 11日 予算等特別委員会
  - 14日
  - 15日
  - 16日
  - 17日
  - 22日 議会運営委員会
  - 本会議(第6日)
  - 広報広聴委員会

#### LINE登録方法

- ①左のQRコードから藤沢市公式LINEを追加
- ②「受信設定」をタップ
- ③「アンケートに回答」をタップ
- ④アンケートの「市議会」にチェックをし「確認」をタップ

藤沢市公式LINEの画面・本庁舎9階市民ロビーのサイネージ

### 藤沢市議会の情報を発信 SNSやサイネージを活用

市議会では、市民の皆様いち早く情報をお届けするため、新たに藤沢市公式LINEでの情報発信を始めました。議会だよりの最新号や定例会の日程等をお知らせします。また、市役所本庁舎の1階ロビーと9階市民ロビーに設置されているサイネージでは、市議会の活動を紹介しています。

(※) 繰越明許費…歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費。

# 令和4年度 予算 審査 のあらまし

令和4年度一般会計及び7特別会計予算(総額2,861億3,584万3千円)並びに議案第87号「藤沢市職員定数条例の一部改正について」ほか4議案、計13議案は、3月4日に設置された予算等特別委員会において9日間にわたり審査が行われました。その結果、3月22日の本会議で全て可決されました。ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

## 令和4年度予算等特別委員会委員

- |     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 桜井 直人 | 副委員長 | 永井 謙  |
| 委員  | 山内 幹郎 | 委員   | 西 智   |
|     | 清水竜太郎 |      | 松長由美絵 |
|     | 杉原 栄子 |      | 甘粕 和彦 |
|     | 柳田 秀憲 |      | 塚本 昌紀 |

## SNS緊急速報情報サービス

### 複数の情報をAI技術で解析 災害時の情報収集を効率的に

**質問** SNSを利用した災害時の情報収集について、2019年の台風19号の際、長野県はハッシュタグを用い、情報提供を呼び掛けた。本市は今後、どのように情報収集を行うのか聞きたい。

**回答** 複数のSNSに上がった情報の中から、AI技術により位置情報や画像の重要度などを解析し、選択した条件に関する情報を知

**質問** SNSを利用した災害時の情報収集について、2019年の台風19号の際、長野県はハッシュタグを用い、情報提供を呼び掛けた。本市は今後、どのように情報収集を行うのか聞きたい。

**回答** 複数のSNSに上がった情報の中から、AI技術により位置情報や画像の重要度などを解析し、選択した条件に関する情報を知



再生可能エネルギー導入に向け、公共施設を有効活用=大道小学校

## PPA事業を導入 地球温暖化対策の推進 太陽光発電システム設置を

**質問** 太陽光発電システムの普及促進に向けた取組であるPPA(※)事業について、仕組みとメリットを聞きたい。

**回答** 事業者が公共施設等

**質問** 太陽光発電システムを既に太陽光発電システムを設置している施設を含め、小中学校や保育園、公共施設の駐車場など、今後の再整備や統廃合の計画などを考慮しながら導入に向け、

**質問** ふれあい入浴事業について、令和4年度は週2回から週5回に入浴回数が増えるが、対象となる浴場の場所から、特定地域に利用者が増えると思うが、どのように新規利用者を増やし

**質問** 公共浴場を災害時のインフラとして活用することが重要であると考え、災害インフラとしての位置づけをどのように考えているか聞きたい。

**質問** 令和3年度の衆議院議員選挙において、長後地区で投票所への送迎を試験的に実施したが、利用した市民の声や課題について聞きたい。

**質問** 4年度の参議院議員選挙に向けて、どのように



投票しやすい環境を目指し、期日前投票所までの移動を支援

(※) PPA…電力販売契約 (Power Purchase Agreement)。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金と二酸化炭素排出の削減ができる。

**質問** 市内の市営住宅に住む高齢者のために、階段に手すりを設置するなど、必要なバリアフリー対応を積極的に進めていくべきと考

**質問** 必要とする市民が市営住宅に入居できるように、入居後も居住の安定が図れ

**質問** ふじさわ歩くプロジェクトについて、令和4年度はさらに多くの市民が楽しく参加できるように事業に取り組むのか聞きたい。

**質問** チームで参加するふ

**質問** 衆議院議員選挙の日程が直前に決まったことから、周知が十分にできなかったが、交通空白地といわれる長後地区北西部を対象に実施し、利用者からは、非常に良い取組であったとの声をいただいた。

**質問** 衆議院議員選挙では、化率が最も高く、期日前投票所を設置していない、湘南大庭地区での実施を検討している。

**質問** 市営住宅の長寿命化居住しやすい環境を

**質問** 健康づくりを促進  
楽しめる取組を

**質問** 人権擁護委員候補者の推薦等に同意

**質問** 人権擁護委員候補者の推薦等に同意

**質問** 人権擁護委員候補者の推薦等に同意

**質問** 人権擁護委員候補者の推薦等に同意

**質問** 人権擁護委員候補者の推薦等に同意

る直接建設型の住宅を基本とし、市営住宅を増やすことを検討すべきと考えるが見解を聞きたい。

**回答** 建築年数が浅い住宅に応募者が集まる傾向があることから、募集倍率の平均化を図るため、設備改善の対策を行いながら利用しやすい運営に努める。

3年度に就労世代を取り込むキャンペーンを実施していることから、4年度については、これらの参加者には継続して参加していただけるよう、そしてさらに多くの方に参加していただけるよう、設定や期間などを見直ししていく予定である。

健康づくりの観点からも、企業や団体等にも積極的に参加していただけるよう取組について、どのように考えているか見解を聞きたい。

人権擁護委員候補者の推薦等に同意

人権擁護委員候補者の推薦等に同意



市民が楽しく参加できる健康づくりのキャンペーンを

- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 藤沢市域の人権擁護委員の1人が、令和4年6月30日をもって任期満了となるため、候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの。
- 議会はこれに同意した。
- 任期は4年7月1日から7年6月30日までの3年間。
- ・佐藤早苗氏(新規推薦、藤沢市在住)
  - 個人情報保護審査会委員の委嘱について
  - 藤沢市個人情報保護審査会委員の5人が、令和4年度に委嘱されるもの。
  - 議会はこれに同意した。
  - 任期は4年4月1日から6年3月31日までの2年間。
  - ・小澤弘子氏(再任、鎌倉市在住)
  - ・篠崎百合子氏(再任、鎌倉市在住)
  - ・宮地基氏(再任、横浜市在住)
  - ・吉田真次氏(再任、横浜市在住)
  - ・山田峰彦氏(新任、藤沢市在住)

予算に対する

各会派の要望・意見

全ての内容は  
こちらから



民主・無所属クラブ、市民クラブ藤沢、ふじさわ湘風会及び藤沢市公明党は全予算案等に賛成し、アクティブ藤沢は令和4年度一般会計予算案に反対し、日本共産党藤沢市議員団は令和4年度一般会計予算ほか5特別会計予算案等に反対しました。  
ここでは、予算に対する各会派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

市民会館の再整備  
市民と協働し発展を  
民主・無所属  
クラブ 10人

①令和4年度当初予算をサステナブル藤沢、インクルーシブ藤沢、スマート藤沢、SDGsやデジタル化等を踏まえながら進めると示したことを評価する。②地域住民のさらなる安全・安心な暮らしの確保ができるよう、家庭裁判所出張所の設置を。③いじめについては、教育委員会とは別に行政自らが、重大ないじめだけではなく、小さな相談から対応する積極的な取組を。④湘南台駅地下アトリスクエア整備事業は、

湘南台駅周辺のまちづくりを都市計画として再開発し、湘南台地区の盛り上げを。⑤チームFUI-SAWA2020は、ボランティア活動という広範で継続的な内容とし、幅広い分野からの意見を基に関係諸団体との調整・協力を得て推進を。⑥厚木基地の動向については、今後とも地域住民の不安解消のため、速やかな情報提供を。⑦太陽光発電のPPA(※)事業は、官民連携の中で補助金制度を活用し、実効性を高めること。⑧次世代自動車導入については、引き続き国の動向とともに、自動車関連事業者への影響等について注視すること。

⑨緑地保全是、住宅地や商業地での緑が重要であり、公園や公共施設の緑を増やすよう具体的な対策を。⑩ビーチクリーン活動におけるごみ回収方法を切り替えることから、周知方法と活動拠点に合わせた回収場所の設置等、ボランティア活動に寄り添った運営を。⑪介護人材の不足は、ICT活用等による職員の働きやすさの環境づくりに向けた支援に努め、人材確保の定着につなげる。⑫ヤングケアラー支援は、多機関、多職種連携による取組が必要のため、コーディネーターの役割を果たす部署を明確にすること。⑬子どもの政策を

計画する際は、子どもの権利条約に掲げる参加権、意見表明権を尊重し、進めること。⑭産後ケア事業は、ケアを必要とする人が利用をためらわないよう、初回は自己負担をなくす、もしくは負担額を低く抑えること。⑮事業継続支援金は、国や県の支援が行き届かない事業者等への適切な支援策を経済団体と協働し、講じる。⑯有機農業を希望する方も多い新規就農者を、農地の斡旋を含め積極的に受け入れること。⑰いずみ野線延伸は、広域アクセス性に優れる鉄道を選定し、鉄道会社、国、県と連携し、早期に採算性の検討を進め、着実に実行すること。

⑱4年度に予定している秋葉台公園内のスケートボード広場の整備は、北部地域の愛好者を中心に受皿となることを期待する。⑲教職員の欠員や未配置は、働き方改革に加え、国・県と連携し対策を。⑳学校開放や施設の複合化を進める際は、学校を開くことと安全をどのように両立させるかという視点に立った取組を。㉑スポーツ振興については、市民が身近な場所所で競技に親しめるよう、施設整備をすること。㉒市民会館再整備は、市民と手作りにしてきた文化行政の伝統を踏まえ、発展するよう取り組むこと。

感染対策と経済対策  
課題整理し取組を  
藤沢市公明党 5人

①地域と連携を図り、自治会組長会や地域の集いなどで、防災ナビの内容を学ぶ場、啓発の場を作る。②防災士の資格取得について、受験料や教材費の一部を補助する制度の早期創設を。③誰一人取り残さないデジタル社会に向け、高齢者等の意見を取り入れ、ニーズに応じたきめ細かい支援の構築を。④ゆるキャラのふじきゅん♡について、あらゆる場面であらゆるコンテンツに活用し、

今後はおしゃべりも可能な癒し系のロボットとして開発を。⑤郷土づくり推進会議は2040年に向けた地域づくりの中核であり、若い世代の参画など、刷新に向けての抜本的な検討を。⑥生理の貧困について、すべての女子児童生徒が安心して生き生きと成長できるよう、全小中学校のトイレへの生理用品の早期配置を。⑦地域包括ケアについて、組織の体制から見直し、誰一人置き去りにしない地域づくりへの着手を。⑧交通マスタープランの改定に向け、ニーズの変化を考慮し、かつ、住民及び利用者の声を反

映させ、あらゆる観点で本市に適した総合的な検討を。⑨(仮称)遠藤笹窪谷公園は、自然環境を生かし生物多様性を学び堪能できる市内唯一の公園であるため、多くの方から愛される公園となり、市北部の新しい魅力発信の場となるよう後押しを。

⑩コミュニティスクールについて、教育委員会と学校の認識に大きな乖離を生じさせないよう丁寧に進めること。⑪湘南台駅地下アトリスクエア整備事業について、広場の活用に向けてのルール化、管理の在り方を早急に検討し、決定すること。

行政の姿の見直し  
市民目線の仕事を  
市民クラブ藤沢 9人

①家庭裁判所出張所の誘致は、管轄の5市1町と連携し、設置市である本市が先頭に立って取り組むこと。②男性職員の育休産休の取得推進は個別周知や意向確認を行い、令和4年度に育休取得率30%の達成を。③本市が魅力あるまちであり続けるためにも、市長のリーダーシップとメッセージが必要であることから、今以上にインパクトのあるシティプロモーションを。④魅力的な未来のためにSDGsの推進は前倒しで取り組み、共創パートナーにはインセンティブをつけること。

⑤火山災害は富士山を想定し、火山灰の被害内容や具体的な対策指針の策定を。⑥PPA事業について、全公共施設にどれだけのキャパシティと導入の可能性があるのかを示して、積極的な活用を。⑦国や県の補助を受けずに行う生きがい就業センター事業が活用されているか、自主財源を使う意識を常に考え事業を行うこと。⑧成年後見人決定までの空白期間に被後見人の預貯金管理などが可能になる緊急事務管理事業は、障がい者が増えている世情に鑑みても被後見人や家族が困らない対策を。⑨子ども食堂は地域の縁側などと連携することで多世代間交流など様々な効果が期待されるので、実現の検討を。⑩コロナ患者の後遺症支援は、コロナとの因果関係

が証明できないなど進んでいないので、専門窓口の創設を。⑪産前産後ケアの充実として、より身近な施設での事業実施などを行い、ベビーフアーストなまちを。⑫HPVワクチンの積極的勧奨が再開することなどから、副反応の相談などについては相談者に寄り添った対応をすること。⑬火葬場の残骨灰処理について、1000万円もの収支増になりうることから、市民の財産が民間事業者の利益となっていない現状の認識を。⑭休耕田や担い手不足の解消などを目標に、藤沢産の酒米で日本酒を造る事業が行われたが、農業振興の起爆剤として支援を。⑮サンパイル広場へのWiFi設置は必要最低限の観光インフラ整備であり、早期

の設置を。⑯ごみ屋敷対策についてガイドラインを制定し解決していくことだが、横断的な連携が取れていないため、速やかに改善すること。⑰地域に開かれた学校のため、市内学校図書館の蔵書をデータベース化して利便性の向上を。⑱今後のスポーツ施設の再整備

備について、スポーツ都市宣言の理念に則った、夢のある再整備計画を早急に検討すること。⑳北部第二(三地区)区画整理事業は、これ以上の計画の遅延はあってはならない。地域住民や関係各所への情報提供を行いながら、確実に執行すること。

よ、対象年齢及び使用回数の是正を図ること。㉑少年の森再整備に当たり、サウンドディング型市場調査の結果と、地域住民との意見交換を十分にを行い、西北部地域の活性化につながる施設となるよう検討すること。㉒道路維持管理・補修等について、SDGsの観点を含め、サステイナブルセメントのような環境配慮型製品の活用等、新技術や新製品の動向に注視し、取り組むこと。㉓旧御所見市民センター跡地について、子どもたちが安全・安心に遊べ、地域住民が集い、地域の活性化につながる新たな拠点になるよう取り組むこと。㉔北部振興、市内経済活性化、将来にわたる税収安定のため、1日も早い相鉄いずみ野線延伸を含めたまちづくりを行うこと。㉕

市内農水産物の消費拡大がより一層推進されるよう、引き続き学校給食用農水産物の出荷における環境整備を。㉖ウイズコロナの経済政策について、政府が進める成長と分配の両立を通じた新しい資本主義が本市において実現されるよう、引き続き取り組むこと。㉗職人版インターンシップ事業について、経営支援という観点からも、より積極的に推進すること。㉘中学校給食について、忙しい保護者が健康的なおいしいデリバリー給食を選択し続けるPR活動を推進すること。㉙増大する行政需要を財政の裏付けによって担保できるよう、より一層健全財政の維持に努めること。㉚市民病院入院時の保証人の在り方を再度検討すること。

民への説明である。村岡新駅では周辺企業に負担を求める協議も行わずに当然問題だが、新駅による周辺企業へのプラス収支、法人税収の見直し、市民への還元も見えず、大変危惧する。市税収入に戦略の明確化が必要。議会との関係も本場にこれだけのいか。

未来志向の政策実現  
変革を恐れず挑戦を  
ふじさわ湘風会 7人

①人事評価について、目標設定の在り方や評価する仕組み等、総合的な見直しを。②藤沢簡易裁判所への家庭裁判所出張所併設に向け、引き続き管轄の他市町を巻き込みながら要望活動の展開を。③ふるさと納税について、

本市ならではの取組を加速させること。④地球温暖化対策を進めるため、様々な公共施設に太陽光発電システムを設置できるように、取り組むこと。⑤医療的ケアが必要な方、重度心身障がい者の受け入れ施設について、県と連携して湘南東部障害保健福祉圏域において整備を促進すること。⑥訪問入浴サービスについて、誰もが普通に入浴できる

⑦高齢者の健康増進や経済活動など総合的な効果をもたらすこと。⑧国民健康保険は保険料の値上げはやめ、一人一万円以上引き下げるべき。⑨いきいき交流券の廃止に対し、高齢者の健康増進の観点からもスポーツ施設の利用助成制度の創設と、いきいきシニアセンターの入浴は無料に戻すべき。⑩小児医療費助成制度は所得制限なく18歳まで拡大を。⑪中学校給食は単独自校方式に切り替えるべき。⑫村岡新駅設置と周辺整備事業は中止し、バス網を整備し福祉拠点として住民要望を生かしたまちづくりを。

村岡新駅で法人税収  
戦略見えず危惧  
アクティブ藤沢 1人

①幕張新駅の費用負担を巡っては、企業負担を含めて協議会での決定前に千葉市議会へ提案されている。これが健全な議会とのやり取りであり、市

(※) PPA…2面注釈参照

# 代表質問

## 主な質問と答弁

2月定例会では、「一般質問(議員個人による市政全般に対する質問)に代えて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、会派を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。今定例会の代表質問は、3月2日、3日、4日の3日間に行われ、6名の質問者が、市長の政治姿勢などについて、市の考えをたどりました。

### ケアシステムの推進

#### 多部門連携とサービスの整備 ヤングケアラー、産後女性を支援する

(民主・無所属クラブ)  
藤沢市地域包括ケアシステムの推進に当たっては、ケアラー支援の視点が重要だと思ふが、その課題として、ヤングケアラーに対する支援の多部門連携体制はどのように行われるのか聞きたい。

答弁 ヤングケアラー支援における連携体制については、日本ケアラー連盟への協力や、様々な支援者に向けた研修会へ当事者を招き、ヤングケアラーの現状把握と啓発を行ってきた。ヤングケアラー支援については、その家族なども支援するとともに、本人に寄り添い求める支援を検討する必要がある。これまで以上に福祉・医療・教育をは



治水対策等で温暖化の災害に備える＝一色川護岸改修工事

### 緩和策と適応策の推進 気候変動への対策 太陽光発電とインフラ整備を進める

(ふじさわ湘風会)  
気候危機の影響に対し、市民が安全安心に暮らしていくためには、温室効

果ガスの排出を抑制する緩和策と、温暖化による自然災害などにあらかじめ備える適応策の推進が必要不可欠であると考えます。  
藤沢市環境基本計画、藤沢市地球温暖化対策実行計画が前倒しして令和4年3月に改定されたことを受け、4年度は緩和策、適応策にどのように取り組むのか、市の見解を聞きたい。

答弁 緩和策については、今回改定する藤沢市地球温暖化対策実行計画の取組、公共施設を活用した太陽光発電システムの導入を位置づけている。本市では約70

の公共施設に導入しており、今後も、再整備する公共施設については可能な限り最大能力の発電システムを導入するとともに、既存の公共施設についても、PPA(※2)事業などにより、さらに導入を推進していく。適応策については、地域特性に応じたインフラ整備に重点的に投資をしていく。河川については、一色川の護岸改修や用田1号水路の流出解析を行い、治水対策を検討する。また、白旗川など4河川の長寿命化計画を策定していく。

災害時の情報収集  
ドローン積極導入を  
(藤沢市公明党)  
災害時のドローン活用については、情報収集の手段として有効であり、そこから得られる情報は消防だけでなく災害対策本部にリアルタイムに提供することも有益と考える。令和4

年度以降導入のことが、導入目的、メリット等、どのように活用し、拡充していくのか、市の見解を聞きたい。  
答弁 これまで災害現場での部隊運用については、無線情報や地上からの情報に、指揮者等の経験則を加えた中で、活動方針や消防戦術を決定してきた。ドローンを導入し、俯瞰した映像情報を得ることで、迅速に災害現場全体の状況を把握でき、指揮本部の機能強化が期待される。また、活動危険箇所を早期発見し、消防職員の殉職



俯瞰した情報で災害対応力を強化する

市の見解を聞きたい。  
産後ケア事業については、令和3年度から育児不安への相談・指導を中心とした3時間のデイサービスを開始した。4年度は、実施設を増やすとともに、ショートステイを開始するほか、6時間のデイサービスの準備をしている。これらの利用料は、国がモデルとする負担割合である3割としている。今後はサービス内容を充実しつつ、利用者や施設などの意見も参考

に研究していく。  
コロナ後の経済回復  
様々な業種での振興を  
(市民クラブ藤沢)  
コロナ禍から市内経済全体を回復させるためには、様々な業種への経済対策などが重要になり、その取組が今後の経済の底上げなどにつながると思うが、市の見解を聞きたい。

レス化が進み、働き方の変化など、新しい生活様式を踏まえた社会にシフトすると想定される。  
まずは令和3年度に実施したデジタル商品券事業の結果などから課題を把握し、その後、テレワーク補助などを、デジタルを活用した取組に側面的な支援を行うことで、生産性や収益性を向上させ、市内経済全体の底上げにつなげたい。

から即効性、持続性のある短期的・中長期的な施策が必要と思うが、市の見解を聞きたい。  
答弁 即効性のある施策として、江の島サムエル・コッキング苑のリニューアルを進めており、日中の施設利用料を無料とすることにより、江の島頂上からのシャワー効果による周辺地域経済の活性化を図る。中長期的施策としては、街頭ビジョンやYouTube等を活用して国内観光

恒久平和に向けて  
核兵器廃絶の実現を  
(日本共産党藤沢市議会議員団)  
ロシアがウクライナに侵攻した。核使用に言及したプーチン大統領の言動

は許すことはできない。日本国憲法第9条に自衛隊を明記することや、緊急事態条項を新設する動きがあることについて、市長の見解を聞きたい。  
答弁 憲法第9条の規定に関しては、平成26年に集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更が閣議決定されており、慎重な議論がなされてきた経過がある。また、内閣の権限を一時的に強化し、国会機能を維持できる緊急事態条項の新


設については、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた議論もされていると認識している。  
憲法の改正に至る場合には、まず国において憲法論議が行われ、その上で、国民的議論が高まっていくことが重要と考えている。  
核兵器禁止条約について、政府は署名、批准をしないという立場である。本市は日本非核宣言自治体協議会副会長であることから批准を促すべきと考えるが、市長の見解を聞きたい。  
答弁 政府は、核兵器保有国と非保有国の橋渡しとして、核軍縮の進展と核兵器廃絶の実現に向けて取り組んでいただきたいと考える。ロシアによる核兵器使用も示唆される中、日本非核宣言自治体協議会はロシア連邦大統領に対して抗議文を发出了。引き続き、協議会及び平和首長会議と連携し、核兵器廃絶と恒久平和に向け取り組んでいく。

### 会派別 代表質問項目

※多数会派順

**民主・無所属クラブ**


1 市長の政治姿勢について



有賀 正義

**市民クラブ藤沢**


1 市長の政治姿勢について



山口 政哉

**ふじさわ湘風会**


1 市長の政治姿勢について



吉田 淳基

**藤沢市公明党**


- 本市の行財政について
- 安全で安心な暮らしを築く
- 健康で豊かな長寿社会をつくる
- 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる
- 都市の機能と活力を高める
- 未来を見据えてみんなではじめる



武藤 正人

**日本共産党藤沢市議会議員団**


1 市長の政治姿勢について



柳沢 潤次

**アクティブ藤沢**

1 まちづくりの未来デザイン2022



原田 建

(※1) DMO…観光地域づくり法人 (Destination Management / Marketing Organization)。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人。  
(※2) PPA…2面注釈参照

行政サービスのDX化

デジタル人材育成の専門研修を実施  
変革の意識を組織全体に浸透させる

(市民クラブ 藤沢)

【質問】国を挙げて推進するDX化により、行政のあらゆるサービスがデジタルで完結できれば、将来的に人的負担、財政負担が軽減されるかと考える。早期にDXを実現していくための具体的な取組について聞きたい。

【答弁】DXの取組を加速させるため、全職員を対象とした階層別研修等とともにデジタル人材育成の専門研修を実施し、業務改革のマインドを組織全体に浸透させながら、全庁を挙げて取り組んでいく。また、DX戦略推進プロデューサーの外部人材ならではの視点を活用し、職員一人一人が変革するマインドを持つことで、市民の利便性の向上と業務の効率化を図ることができるよう取り組む。

【質問】施設方針において、さらなる専門人材や大学生・ド愛好者の受皿となり得る等を取り入れるとあるが、どのような効果を想定しているか聞きたい。

【答弁】令和4年4月からデジタルに関する知識とICT企業での実務経験を兼ね備えたデジタル職を採用し、専門的な知識と技術により、スピード感のある行政のDX化に取り組みたいと考えている。



スケートボード愛好者の受皿に＝秋葉台公園スケートボード広場予定地

また、4年度には、秋葉台公園内にスケートボード広場の整備を予定しており、北部地域の愛好者を中心に受皿となることを期待している。

【答弁】本格的なエリアマネジメントの着手については、村岡地区が目指すまちづくりを継続し、街の価値を高めていくために、まちづくりの計画段階から街全体での効果的なマネジメントに取り組みたいと考えている。

【答弁】スクーターボードやBMXをはじめとしたアーバンスポーツは、東京2020大会を契機に盛り上がりを見せ、競技者や愛好者の受皿となる施設のニーズが高まっていると認識している。このため、本市では、Park-PFI(※1)制度を活用し、鶴沼海浜公園の改修事業を推進しており、令和5年秋頃のオープンを目指し、スケートパークをはじめとした公園施設の全面改修を行っていく。

【質問】スクーターボードやBMXをはじめとしたアーバンスポーツは、東京2020大会を契機に盛り上がりを見せ、競技者や愛好者の受皿となる施設のニーズが高まっていると認識している。このため、本市では、Park-PFI(※1)制度を活用し、鶴沼海浜公園の改修事業を推進しており、令和5年秋頃のオープンを目指し、スケートパークをはじめとした公園施設の全面改修を行っていく。

【質問】スクーターボードやBMXをはじめとしたアーバンスポーツは、東京2020大会を契機に盛り上がりを見せ、競技者や愛好者の受皿となる施設のニーズが高まっていると認識している。このため、本市では、Park-PFI(※1)制度を活用し、鶴沼海浜公園の改修事業を推進しており、令和5年秋頃のオープンを目指し、スケートパークをはじめとした公園施設の全面改修を行っていく。

【質問】スクーターボードやBMXをはじめとしたアーバンスポーツは、東京2020大会を契機に盛り上がりを見せ、競技者や愛好者の受皿となる施設のニーズが高まっていると認識している。このため、本市では、Park-PFI(※1)制度を活用し、鶴沼海浜公園の改修事業を推進しており、令和5年秋頃のオープンを目指し、スケートパークをはじめとした公園施設の全面改修を行っていく。

市民の暮らしの分野に  
税金の使い道  
最優先に配分を

(日本共産党藤沢市議会議員団) 行政改革2024では高齢者、障がい者福祉事業等の削減・廃止が進め

【質問】右肩上がりの税収が見込めない現状から、大型開発は中止・凍結も含めて

【答弁】令和4年度予算では、コロナ対応を最優先としつつ、高齢者や障がい者並びに子育て世帯や生活困窮世帯などに対する市単独の支援事業などもしっかりと財源を確保し、市民生活の安全・安心に配慮した予算としている。

【質問】右肩上がりの税収が見込めない現状から、大型開発は中止・凍結も含めて

【答弁】令和4年度予算では、コロナ対応を最優先としつつ、高齢者や障がい者並びに子育て世帯や生活困窮世帯などに対する市単独の支援事業などもしっかりと財源を確保し、市民生活の安全・安心に配慮した予算としている。

【質問】右肩上がりの税収が見込めない現状から、大型開発は中止・凍結も含めて



レガシーを未来につなげる＝パラスポーツフェスタ

【質問】レガシーを未来につなげる＝パラスポーツフェスタ

【質問】レガシーを未来につなげる＝パラスポーツフェスタ

【質問】レガシーを未来につなげる＝パラスポーツフェスタ

【質問】レガシーを未来につなげる＝パラスポーツフェスタ

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。2月定例会の会議録は5月下旬から閲覧できます。また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

傍聴についてのお知らせ

閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。なお、皆様の健康を守る観点から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が収束するまでの間、議会の傍聴を縮小しております。本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審査する議会運営委員会はインターネット中継を行いますので、そちらをご視聴いただけますようお願いいたします。日時等についても変更になることがありますので、詳しい内容は下記へお問い合わせください。また、平常どおり傍聴可能となった際は、ホームページ掲載等によりお知らせいたしますので、それまでの間、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。[問合せ]議会事務局議事課 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123 Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

閉会中に開催する諸会議

開催日	開会時刻	会議名
5月23日(月)	10:00	5月臨時会本会議
5月27日(金)	13:00	災害対策等特別委員会(水防訓練現地視察)
6月1日(水)	15:30	議会運営委員会

請願と陳情のご案内

6月定例会では、請願・陳情ともに6月1日(水)正午までに提出されたものを審査します。また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。※提出方法については議会事務局議事課にお問い合わせください。

6月定例会

開催日	開会時刻	会議名
6月6日(月)	10:00	本会議(議案の説明など)
8日(水)	10:00	本会議(議案の審議など)
9日(木)	9:30	建設経済常任委員会
10日(金)	9:30	厚生環境常任委員会
13日(月)	9:30	子ども文教常任委員会
14日(火)	9:30	総務常任委員会
15日(水)	9:30	補正予算常任委員会
16日(木)	9:30	議会運営委員会
20日(月)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
21日(火)	10:00	本会議(一般質問)
22日(水)	10:00	本会議(一般質問)
23日(木)	10:00	本会議(一般質問)
24日(金)	10:00	本会議(一般質問、追加議案議決など)

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。

(※1) Park-PFI…飲食店や売店等の公園利用者の利便性向上に資する施設を設置し、その収益を活用して公園の整備・改修等を一体的に行う事業者を、公募により選定する制度。(※2) ナラ枯れ…カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によって、コナラやミズナラなどが集団的に枯れる被害のこと。

# 代表質問

主な質問と答弁

## 通学路等の交通安全対策

### 警察や学校と連携し合同点検を実施 安全な通学環境の整備に努める

(藤沢市公明党)

**質問** 令和3年7月に文部科学省から発出された、通学路における合同点検の実施について(依頼)への対応状況と今後の取組について伺いたい。

**答弁** 市立小学校に対して通学路の危険箇所調査を依頼した結果、今年度は167箇所の報告があった。対応状況としては、市内の関係各課や警察、学校等による合同点検実施のほか、ガードレールの補修やグリーンベルトの路面標示、注意喚起表示設置等のハード面及び交通安全教育実施等、



愛知県豊田市の設置事例

信号機のない横断歩道の安全対策として、歩行者横断点滅器を設置予定

**質問** ソフト面の安全対策を行っている。今後は、危険箇所への対策状況の公表及び注意喚起並びに関係機関との緊密な連携により、安全な通学環境の整備に努める。

**質問** 信号機のない横断歩道の安全対策として、歩行者横断点滅器の設置予定箇所数、及び効果の検証と今後の展開について伺いたい。

**答弁** 市内で1箇所設置を予定しており、設置前後での車両の一時停止率調査や学校関係者への聞き取りを行い、その結果を踏まえ、他の地域にも有効な検証を進めていく。設置場所の選定にあたっては、交通量や

人間力、職員力を高め、何事も自分事として考えられる力を培う必要があると考える。

**質問** 全職員の意識改革を促すには、理事者が変革の姿勢を示すべきである。今後、不祥事のない事務執行が可能となる市政に向けた、理事者の決意を聞きたい。

**答弁** 組織内部のコミュニケーション不足等が要因となる事案、事務ミス起因とする事案は、信頼回復のために行ってきた内部統制の取組が一部には浸透していないことを示しており、由々しき事態と捉えている。コロナ禍による働く環境の変化等が生じる中では、職員間のコミュニケーションに加え、組織間の連携がより重要であると捉えている。令和3年12月定例会で

**質問** 家庭裁判所出張所連携して設置要望を



家庭裁判所出張所の設置を積極的に要望する

**質問** 本市議会は、平成27年3月及び昨年10月に、藤沢簡易裁判所への家庭裁判所出張所併設を求めた意見書を国と最高裁判所に提出した。家庭裁判所出張所設置は、

とも連携できる体制を整えているが、藤沢簡易裁判所で取り扱わない相続や離婚などの家事事件が多くある。流入人口の増加や高齢化と相まって、今後、家事事件は増加傾向になると想定している。

**質問** 本市の人口増加は、子育て支援など政策の優位性に加え、地理的要因や環境面、コロナ禍によるテレワークの促進などが要因と考えられる。

**答弁** SDGsの視点やデジタル化、施策・事業の最適化など、中長期的な視点に立ち、社会の変化を的確に捉えた、信頼される市政

運営を推進していく。さらに、未来に向けて、まちの活力が持続するために、都市拠点の機能分担と相乗効果を市域全体につなげることも、都市基盤整備を着実に進めていく。

**質問** 令和4年度を新たなスタートとして踏み出し、市民一人一人の心にある、郷土を愛する思いが、社会、自然と美しく調和した中で、時代を超え、誰もが自分らしく生き、幸せを実感できる最適な未来を共に創っていく。

**答弁** 令和4年度を新たなスタートとして踏み出し、市民一人一人の心にある、郷土を愛する思いが、社会、自然と美しく調和した中で、時代を超え、誰もが自分らしく生き、幸せを実感できる最適な未来を共に創っていく。

## 目標達成に向けた取組

### 有機農業の推進

担い手育成・消費者の理解促進を

(民主・無所属クラブ)

**質問** 国がみどりの食料システム戦略で、有機農業の取組面積を25%にする目標が示されたが、本市では現在の11倍に増やす必要があり、種から流通・消費・教育・研修・研究まで一貫した取組を行うべきと考え、市の見解を聞きたい。

**答弁** 本市は令和8年度の有機農業の取組面積を、2年度比で2.8倍とすることを目標としており、達成に向けては、担い手の育成や消費者の理解促進が重要と考えている。このため、新規就農者の積極的な受け入れや研修支援の実施、イベント等における有機農産物の販売、講座等の充実を図り、学校給食におけるモデル校での藤沢産有機農産物の供給を検討していく。

**質問** 生産緑地制度の制定から30年が経過し、特定生産緑地への移行が始まる中、都市農業を守る立場として、何らかのインセンティブをもって農地や緑地を守る対応をしているのか聞きたい。

**答弁** 本市では、生産緑地面積の約8割が、特定生産緑地に指定済みとなっている。

## 村岡新駅設置費用

財政負担の軽減を

(アクティブ藤沢)

**質問** 村岡新駅設置費用の150億円に対し、議会がいつ、どの場で認めたのか聞きたい。また、費用負担を再考すべきと考え、市の見解を聞きたい。

**答弁** 市が新駅設置を決定した起案文書はいつ決裁されたのか聞きたい。平成30年12月市議会

**質問** 中期財政見直しにおける今後の建設関係の突出見込みについて、財務部の考えを聞きたい。

**答弁** 中期財政見直しは、中期的な視点で歳入歳出や健全化判断比率のシミュレーションを行い、本市の発展につながる様々な事業を計画的に進めることで、健全な財政運営を維持するこ

## 2市1町の広域連携

スポーツ支援の取組を

(市民クラブ藤沢)

**質問** 湘南広域都市行政協議会では、湘南地域の独自性とスケールメリットを生かしていくためにも、連携を深め、共通課題を抽出し、実現向け検討を重ねていく必要があると考え、スポーツ都市宣言は、2市1町で取り組むことで、より効果的な成果を得られると考えられる。スポーツ

**答弁** 同協議会では、時勢を捉えた取組として、SDGsの推進、人権・男女共同参画に向けた取組、2市1町の農畜水産物の魅力発信、地球温暖化防止対策及び気候変動適応策の取組など、広域で取り組むことによるメリットを最大限に生かせる事業の実施に向けて検討を進めている。

**質問** 来年度からの新たな取組として、協議会の圏域と同じ地域を拠点に活動しているバスケットボールチーム、湘南ユナイテッドBCとの連携についても検討を予定している。

**答弁** スポーツ行政については、フレイル予防などの健康志向の高まりを踏まえ、スポ

**質問** 行政における、協議会での新たなスポーツ支援の取組について聞きたい。

**答弁** 同協議会では、時勢を捉えた取組として、SDGsの推進、人権・男女共同参画に向けた取組、2市1町の農畜水産物の魅力発信、地球温暖化防止対策及び気候変動適応策の取組など、広域で取り組むことによるメリットを最大限に生かせる事業の実施に向けて検討を進めている。

**質問** 1ツチームとの連携など、地の利を生かした取組として検討を進めていく。



地域を拠点に活動するスポーツチームとの連携など検討を進める

(7)

# 常任委員会・特別委員会の動き

## 東京2020大会を終えて

### 今大会で築いたレガシーを

### 次世代、その先の未来へと引き継ぐ

#### 子ども文教

子ども文教常任委員会は、1月25日及び2月22日に開催された。

1月25日の委員会では、GIGAスクールの概要と現在の活用状況及び教育文化センターの取組について、オンライン視察を行った。

2月22日の委員会では、議案2件、陳情1件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。



市民による数々のおもてなしが大会を盛り上げた

〈市の説明〉

子ども文教常任委員会は、リンピック・パラリンピック競技大会を終えて④本市における学校運営協議会の実施状況と今後の取組⑤藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針(最終案)⑥学校教育ふじさわビジョンの改定―以上6件について報告を受けた。

このような状況の中で開催された今大会であったが、本市では、市民参加型の大会の実現とレガシーの創出を柱とし、地域と市民が元気にすることを目標に、地元住民や、市内19の関係団体で構成する支援委員会などと連携し、大会開催に向けて取組を進めてきた。

また、新型コロナ対策をはじめとした医療や危機管理等に万全を期して臨み、安全安心の大会実現と盛り上げの両立を図るなど、地元自治体として大きな役割を果たすことができた。

本市における取組の成果としては、江の島会場の競技運営が国際競技団体から非常に高い評価を受けたことに加え、市民による数々のおもてなしや、江の島の景観も選手関係者から称賛されたことと捉えており、これらの取組や景観は、広く国内外に発信され、藤沢・江の島を発信する、またとない機会となったと捉えている。

また、今大会を契機としたボランティア気運を市民活動へとつなげていくための仕組みとして、チームFUJISAWA2020を始動させたこと、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」スポーツライフを楽しめるようにとの理念の下、スポーツ都市宣言を制定したことは、今大会を象徴するレガシーと捉えている。

今大会を通じて培った市民力・地域力、さらには、チームFUJISAWA2020、スポーツ都市宣言をはじめとする数々の成果、レガシーを、藤沢の輝かしい未来へ向けた新たな活力として、次世代、その先の未来へと着実に引き継いでいけるよう取り組んでいく。

また、今大会を契機として、市民目線を大切に、一人一人に寄り添ったサービスの提供を通じて、市民生活の質の向上を実感できるスマートシティの実現に向けた取組を進めていくため、本市が目指すスマートシティの基本的な考え方やビジョン、今後の進め方などを取りまとめた基本方針(案)を作成した。

本市のスマートシティビジョンは、湘南の元気都市にふさわしく、明るく元気に、未来へとつながるよう、

## 本市DXの方向性とスマートシティへの取組

### 行政と都市のデジタル化を進める

総務常任委員会は、2月24日に開催され、議案3件、陳情1件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①藤沢市人権施策推進指針の改定②「藤沢市DX推進計画」及び「藤沢市スマートシティ基本方針」の策定について報告を受けた。

国では、各自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した自治体DX推進計画や、情報システムの標準化などの進め方に関する手順等を示した自治体DX全体手順書を策定している。本市においても、本市の状況や特性を考慮した具体的な取組を計画的に実施していくため、DX推進計画(案)を作成した。

本計画の推進に当たっては、業務の効率化と市民サービス向上の観点から、藤沢市行政改革2024基本方針と連携することにも、藤沢市SDGs共創指針をはじめ、関連計画等と整合

性を図りながら進めていく。本市におけるDXの方向性としては、デジタル化を前提とした考えに立ち、住民の利便性向上と自治体事務の効率化を図りながら、行政のデジタル化と都市のデジタル化に取り組んでいく。

また、市民目線を大切に、一人一人に寄り添ったサービスの提供を通じて、市民生活の質の向上を実感できるスマートシティの実現に向けた取組を進めていくため、本市が目指すスマートシティの基本的な考え方やビジョン、今後の進め方などを取りまとめた基本方針(案)を作成した。

## ふじさわ下水道ビジョン(案)

### 持続可能な下水道事業を未来へつなぐ

#### 建設経済

建設経済常任委員会は、2月18日に開催され、議案3件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものとして決定した。

また、①藤沢市耐震改修促進計画の改定(最終報告)②藤沢市都市農業振興基本計画の改定(最終報告)③藤沢市地産地消推進計画の改定(最終報告)④ふじさわ下水道ビジョン(案)―以上4件について報告を受けた。

このことからも、令和5年からのアセットマネジメント(※)運用に向けてビジョンの見直しを行い、新たにふじさわ下水道ビジョン(案)を作成した。

本ビジョンは、本市下水道事業の中長期的な理念を示したマスタープランとして、計画期間を5年から24年までの20年間とした。本ビジョンの基本理念は、これからの厳しい時代を迎えても、重要な社会的共通資本である下水道を子どもたちに引き継ぎ、快適で安全安心な市民生活を守り、地球環境の保全と都市の成長を目指すため、本市の下水道のあるべき姿を「湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道」とした。

基本理念を具現化するために進むべき方向を示した基本方針は、①元気な下水道を次の世代へ②自然災害にまけないまちづくり③美しく豊かな環境づくり④未来へつなぐ下水道サービス

以上4つとした。これらの基本方針(案)に具体的に取り組む計画や戦略などを15の施策として設定し、施策の推進に当たって共有すべき考え方を推進方策として示した。今後の予定としては、当



管路の耐震化を進め、市民の衛生環境や都市機能を守る

## 藤沢型地域包括ケアシステムの推進

### 多機関協働事業等を進め地域共生社会の実現を目指す

#### 厚生環境

「新たな活力を創出し、進化しつづけることで、愛着と誇りあふれる藤沢の魅力」を未来に受け継いでいくこととした。

今後の予定としては、令和4年4月にこれらの計画化しつづけること、愛着と誇りあふれる藤沢の魅力」を未来に受け継いでいくこととした。

令和3年4月施行の改正社会福祉法では、市町村が包括的な支援体制を構築する具体的な手法として、属性を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業を新たに規定しており、実施を求めている。

本市においては、既に分野を超えた包括的な支援体制の整備に取り組んでいることから、国の動向は本市の取組や考え方を後押しするものと捉えており、今後は関係部局や機関と、その考え方を共有することにも、重層的支援体制を整備する

今後の推進体制としては、重層的支援体制の考え方を全職員が共通認識として持つために、職員研修等での啓発を進めるほか、各支援関係機関とのネットワークを広げ、地域全体で支え合う体制の強化を進めていく。

また、3年度に設置した地域共生社会推進プロジェクト組織では、2040年を見据えた地域生活課題に対応するための体制整備について関係部局と連携し、庁内検討委員会に提案していく。

## 補正予算

補正予算常任委員会は、2月25日に開催され、議案8件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの

議案は全て可決すべきもの

(※) アセットマネジメント…下水道事業においては、①ヒト(組織・管理体制)②モノ(資産・施設(ストック)管理)③カネ(経営管理(投資・財政計画など))の3つの要素を活用し、持続可能な事業運営を行っていくこと。

# 議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対  
 △：賛否が分かれる  
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
<b>市長提出</b>								
77	専決処分承認について(令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第10号)) 付託せず	承認 4.2.17	○	○	○	○	○	
78	専決処分承認について(令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第11号)) 付託せず	承認 4.2.17	○	○	○	○	○	
79	財産の取得について(遠藤笹窪谷(谷戸)用地) 付託せず	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
80	市道の認定について(片瀬421号線ほか3路線) 建設経済	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
81	市道の廃止について(片瀬91号線ほか2路線) 建設経済	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
82	指定管理者の指定について(藤沢市藤沢駅前広場(北口地下広場)) 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	×	
83	指定管理者の指定について(藤沢市太陽の家(心身障がい者福祉センター)) 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
84	藤沢市個人情報の保護に関する条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	×	
85	藤沢市事務分掌条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
86	藤沢市条例の読点の表記を改める条例の制定について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
87	藤沢市職員定数条例の一部改正について 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
88	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
89	藤沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
90	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例及び藤沢市一般職員の給与に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
91	藤沢市職員退職料等条例の廃止について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
92	藤沢市手数料条例の一部改正について 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
93	藤沢市道路占用料徴収条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
94	藤沢市特別会計条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
95	藤沢市水洗便所改造等資金貸付条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
96	藤沢市地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について 建設経済	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
97	藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 子ども文教	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
98	藤沢市保育所条例の一部改正について 子ども文教	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
99	藤沢市小児医療費助成条例の一部改正について 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	○	
100	藤沢市国民健康保険条例の一部改正について 厚生環境	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
101	藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例の一部改正について 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	○	
102	藤沢市江の島岩屋条例の一部改正について 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	○	
103	藤沢市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 付託せず	可決 4.2.17	○	○	○	○	○	
104	令和3年度藤沢市一般会計補正予算(第12号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
105	令和3年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
106	令和3年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算(第3号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
107	令和3年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
108	令和3年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
109	令和3年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
110	令和3年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算(第2号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	×	
111	令和3年度藤沢市民病院事業会計補正予算(第3号) 補正予算	可決 4.3.2	○※1	○	○	○	○	
112	令和4年度藤沢市一般会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
113	令和4年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
114	令和4年度藤沢市墓園事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	○	
115	令和4年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
116	令和4年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
117	令和4年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
118	令和4年度藤沢市下水道事業費特別会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	×	
119	令和4年度藤沢市民病院事業会計予算 予算等	可決 4.3.22	○	○	○	○	○	

議員提出							
5	ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議について 付託せず	可決 4.3.4	○※1	○	○	○	○

陳情							
14	令和3年度子育て世帯臨時特別給付における不公平是正を求める陳情 総務	趣旨不承 4.2.24	×	×	×	×	○
15	児童手当の所得制限撤廃を求める意見書の提出についての陳情 子ども文教	趣旨不承 4.2.22	○	×	×	×	-
16	湘南海岸砂防林への農業散布の中止を求める意見書提出についての陳情 厚生環境	趣旨不承 4.2.21	×	×	×	×	-

※ 佐賀和樹議長は、3月2~4日まで欠席  
 ※1 欠席した議員：竹村雅夫(3月2~4日の本会議を欠席)

会派名	省略表示	所属議員			
民主・無所属クラブ(10)	民無ク	安藤好幸 友田宗也 竹村雅夫	神尾江里 大矢 徹 有賀正義	谷津英美 永井 譲	清水竜太郎 柳田秀憲
市民クラブ藤沢(9)	市民ク	石井世悟 栗原貴司 井上裕介	西 智 松長由美絵	桜井直人 北橋節男	佐賀和樹 山口政哉
ふじさわ湘風会(7)	湘風会	杉原栄子 吉田淳基	甘粕和彦 神村健太郎	佐野 洋 加藤 一	堺 英明
藤沢市公明党(5)	公明党	平川和美 松下賢一郎	東木久代	武藤正人	塚本昌紀
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	山内幹郎	柳沢潤次
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			

※上記は令和4年2月定例会時における会派構成です。  
 ( )内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順

**会派の変更**  
 4月1日付で会派構成の変更がありました。  
**所属議員の変更**(○は会派代表者)  
 「民主・無所属クラブ」 安藤好幸 神尾江里 谷津英美 清水竜太郎 大矢 徹  
 永井 譲 ○柳田秀憲 竹村雅夫 有賀正義  
**新会派結成**(○は会派代表者)  
 「Visionふじさわ」 ○友田宗也